

令和3年度 組織重点目標及び達成状況

課名	係名	具体的目標	達成水準	達成状況
教育総務課	教育総務係	公正かつ適正な運営を図り、教育委員会の事業活動を広く周知し、魅力ある教育行政の情報発信に努める。	1 ホームページ・広報誌への記事等の掲載 2 新教育振興基本計画策定	町HPに新たに「教育委員会関連情報」を掲載し、情報発信に努めた。教育振興基本計画策定に向けて、教育振興基本計画策定業務委託により契約を完了した。
	学校施設係	児童生徒が安全で安心な学校生活を送れるよう、学校施設の環境改善を図る。そのために、学校側と連携を密にし、優先順位を決めて計画的に学校施設の修繕を進めると同時に、突発的・緊急的な施設の破損等にも迅速に対応し、安全確保に努める。	1 利府第二小学校のプール改修工事は6月下旬、体育館床改修工事は夏休み中の工事完了 2 町内全小中学校への「非接触型自動水栓」の早期設置	利府第二小学校のプール改修工事及び新型コロナウイルス感染症対策に係る町内全小中学校への「非接触型自動水栓」の設置について予定通り完了している。
	学事係	児童生徒が笑顔あふれ健やかな心身を育むことができるよう児童生徒の就学の支援及び学校事務支援に努める。	1 毎月1回開催される学校事務支援室会議へ参加し、学校事務の進捗状況を確認するとともに、常に新しい情報を共有する。 2 9月まで学校給食費管理システムの導入に向け、業務スケジュールにより関係各所との打合せを行い、必要な事務の精査を行う。	1 毎月1回開催される学校事務支援室会議へ参加し、学校事務の進捗状況を確認するとともに、常に新しい情報を共有する。 2 9月まで学校給食費管理システムの導入に向け、業務スケジュールにより関係各所との打合せを行い、必要な事務の精査を行う。
	教育指導係	豊かな心を持つ人間育成のため、一人ひとりの教育的ニーズに応じた相談・支援体制の充実	1 不登校・いじめについて 目標値 不登校児童生徒数 24人 いじめの重大事態 0件 2 いじめ対応に関する研修の実施 各小中学校におけるいじめ対応に関する校内研修を年2回以上実施。 3 学力について 全国学力・学習状況調査において、ポイントを上げる。 (目標値) 小学校 県平均比+1ポイント (前年度比+0.4ポイント) 国平均比±0ポイント (前年度比+1.4ポイント) 中学校 県平均比+1ポイント (前年度比+1ポイント) 国平均比+1ポイント (前年度比+0.6ポイント)	1 いじめ対策として、各小中学校においては、いじめ対応に関する校内研修を2回以上実施し、教職員間で情報共有を図った。また、不登校対策として不登校傾向や不登校の児童生徒に対し、心のケアハウスでの支援や、SSWが保護者や児童生徒との面談を通じて環境改善等を図ったものの、新型コロナウイルス感染症に伴う影響もあり、不登校児童生徒数は昨年を大きく下回る結果(75人:前年対比51人増)となった。 2 全国学力学習状況調査において、小学校は目標としていた県平均+1ポイントを上回り+1.5ポイントとなった。国平均は-0.45下回ったが概ね目標どおりとなっている。中学校も県平均+1ポイント、国平均は+0.1ポイントとなり、いずれも平均を上回る結果となった。

令和3年度 組織重点目標及び達成状況

課名	係名	具体的目標	達成水準	達成状況
	学校給食センター	学校給食での地場野菜などの活用を通し、地域や学校給食への関心を高めると共に、学校給食の残食を減らす。	<ol style="list-style-type: none"> 1 地場産品の使用食材数、使用量の増加。 2 給食の残食率を前年度より1%下げる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地場産品の使用率は、令和2年度31.7%に対し、令和3年度は29.1%に留まった。JAとの連携や食材納入業者への働きかけなどに努めたが、天候不順や町内の生産者が減少していることなども要因になり、使用率が減少しているものとする。次年度は、指標事態の見直しも視野に入れ検討したい。 2 献立の工夫や食育指導により、残食の減少に努めたが、残食率は以下のとおりとなった。児童生徒のコロナウィルス感染が増加し、欠席者等が増えたことが要因と考える。 残食率 令和2年度 13.7% 令和3年度 15.2%